

総合人文科学研究センター 活動報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

現代日本における「信頼社会」再構築のための総合的研究

2013年4月20日(土) 33号館第10会議室

【主催】第一回「信頼社会」研究会

御子柴善之「信頼と人権」

山田真茂留「生活公共性の比較社会学」

2013年6月22日(土) 33号館702教室

【主催】第二回「信頼社会」研究会

岡部耕典「『信頼社会』を超えて?——多様な生を棄損しない社会のありかたをめぐる試論——」

藤野京子「犯罪者や非行少年をめぐる信頼と不信」

2013年10月26日(土) 33号館第10会議室

【主催】第三回「信頼社会」研究会

浜野喬士「フィヒテ法哲学における〈信頼〉概念の位置づけとその哲学的意義」

宮本明子「被災地・被写体との信頼」

2013年12月7日(土) 38号館AV教室

【主催】「信頼社会」シンポジウム「現代日本における「信頼」のゆくえ

——映画『先祖になる』池谷薫監督を迎えて——」

池谷薫(講演)、松永美穂、藤本一勇、堀内正規(特定質問)

早稲田大学比較文学研究室

2013年7月4日(木) 39号館第5会議室

【主催】月例研究発表会(第217回)

ブルナ・ルカーシュ「大正前期の日本文壇とゴーリキー

——相馬御風と吉江孤雁の評論、宮島資夫と宮地嘉六の創作を中心に——」

2013年10月20日(日) 戸山キャンパス各教室

【会場提供・企画】

日本比較文学会東京支部・第51回東京大会

総合司会 源貴志

2014年3月25日(火)

【雑誌刊行】

「比較文学年誌」第50号

中島国彦「言葉を紡ぐ行為、言葉を消す行為

——三善晃「レクイエム」は、反戦詩をどう音にしたか——」

堀内正規「『黄金詩篇』における〈アメリカ〉の働き——吉増剛造と〈アメリカ〉」

吉田裕 「輻輳する空間——建築・映画・小説」
 ブルナ・ルカーシュ 「大正初期のアナーキズムとゴースト
 ——大杉栄の思想と、宮地嘉六の初期作品をめぐって」
 活動記録、彙報、編集後記

国際日本学共同研究部門

2013年4月27日(土) 33号館第2会議室

【主催】古典テキスト校訂分科会第1回研究会
 竹本幹夫 「謡曲の本文校訂の歴史について」

2013年5月25日(土) 39号館第5会議室

【主催】古典テキスト校訂分科会第2回研究会
 岡崎由美 「中国古典戯曲校訂の概況」
 冬木ひろみ 「シェイクスピアの本文校訂——シェイクスピア時代から現代まで」

2013年6月21日(金) 33号館第10会議室

【共催】ワークショップ「原爆文学から原発文学へ」
 村上陽子 「〈無数の嘆き〉について——大田洋子「ほたる」論」
 柿谷浩一 「〈原発文学〉という視点——井上光晴を軸に」
 ジョン・W・トリート 「原発は原爆に先行する——ひとりのアメリカ人の研究経歴」

*〈重点領域研究〉早稲田大学国際日本文学・文化研究所との共催

2013年6月29日(土) 33号館第2会議室

【主催】古典テキスト校訂分科会第3回研究会
 陣野英則 「平安時代物語文学の本文校訂——『源氏物語』と『うつほ物語』の場合——」
 藤井明彦 「ドイツにおけるテキスト校訂の歴史と現状」

2013年7月20日(土) 33号館第9会議室

【主催】古典テキスト校訂分科会第4回研究会
 宮城徳也 「祝婚歌の伝統と悲劇」
 黒岩卓 「十五・十六世紀のフランス語劇作品における韻文形式と作品伝承について」

2013年7月23日(火) 33号館第10会議室

【後援】「〈ワークショップ『源氏物語』受容の現在〉スペイン語新訳『源氏物語』を聴く
 ——受容・翻訳・パフォーマンス——」
 アリエル・スティラーマン (訳者のイントロダクション)、アナ・レカルデ (朗読)、清水憲男 (コメンテーター)

*早稲田大学文学学術院陣野英則研究室主催

セルバンテス文化センター東京、国際交流基金、〈重点領域研究〉早稲田大学国際日本文学・文化研究所、
 早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「国際日本学共同研究部門」後援

2013年11月2日(土) 39号館第5会議室

【主催】古典テキスト校訂分科会第5回研究会
 兼築信行 「建礼門院右京大夫集の本文校訂について」
 瀬戸直彦 「フォルケ・ド・マルセイユの本文校訂方法について」

イメージ文化史

2013年5月28日(火) 大隈小講堂

【主催】公開講座「ナムジュン・パイクと電子の亡霊：阿部修也さんとパイク・アベ・シンセサイザーの夕べ」

橋本一径 「心霊写真 WS / レクチャーシリーズについて」

草原真知子 「ゴーストの系譜：ファンタスマゴリアからヴァーチャルリアリティまで」

齋藤理恵 「ナムジュン・パイクとビデオアートの身体性」

阿部修也 「ナムジュン・パイクについて」

(以上、発表)

阿部修也 「パイク・アベ・シンセサイザー デモンストレーション」

阿部修也+瀧健太郎 (ビデオシンセサイザー)、寒川晶子 (ピアノ)

「パイク・アベ・シンセサイザーと現代音楽によるパフォーマンス」

(以上、実演)

* 早稲田大学文化構想学部表象・メディア論系、早稲田大学川口芸術学校共催

2013年6月28日(金) 33号館第1会議室

【主催】連続ワークショップ「マンガ的視覚体験をめぐって——フレーム、フィギュール、シュルレアリスム」

第1回「マンガ的時間、シュルレアリスム的時間」

伊藤剛 「描かれた『空間』——コマの並置と連続——」

鈴木雅雄 「瞬間は存在しない——フィギュールのパラドックス」

2013年10月24日(木) 33号館第1会議室

【主催】連続ワークショップ「マンガ的視覚体験をめぐって——フレーム、フィギュール、シュルレアリスム」

第2回「マンガ的空間、シュルレアリスムの空間」

野田謙介 「踏み外されるフレーム」

齊藤哲也 「複数化するフレーム——絵画の「コマ」構造」

2013年12月6日(金) 33号館第1会議室

【主催】連続ワークショップ「マンガ的視覚体験をめぐって——フレーム、フィギュール、シュルレアリスム」

第3回「マンガをめぐる言説、シュルレアリスムをめぐる言説」

加治屋健司 「マンガと美術が交差する言説——折り重なる時間と空間」

中田健太郎 「マンガと絵画の境界をどう考えるか——物語絵画について」

2014年2月1日(土) 36号館581教室

【主催】連続ワークショップ「心霊写真」

第2回「心霊写真の文化史——メディアテクノロジーの発展と亡霊表象の変遷」

浜野志保 「奇術師 vs 幽霊——心霊写真の“作り方”」

前川修 「機械のあいだの幽霊——ポスト・ビデオ的心霊映像——」

橋本一径 「オーラの痕跡——イポリット・バラデックの科学的な心霊写真」

グローバル化社会における多元文化の構築

2013年6月1日(土) 36号館681教室

【共催】2013年度多元文化学会春期大会シンポジウム「グローバル化社会における地域文化の多様性」

ジェームス・マニー・バーダマン 「Americanization (and Globalization) of the Cajun People」

タニア・ホサイン 「English as a Global Language in Post-Colonial South-Asia: Perspective on Bangladesh」

村井誠人 「北欧（デンマーク）におけるグローバリゼーションとは」

* 多元文化学会主催

早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

2013年7月20日（土） 36号館382教室

【共催】 公益社団法人日本モンゴル協会定例講演会

富川力道（バー・ボルドー）「日本とモンゴルの「相撲」文化について」

* 日本モンゴル協会主催

早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

2013年11月9日（土） 36号館682教室

【後援】 2013年度多元文化学会秋期講演会

金文京 「東アジアの水戸黄門——日・中・朝の旅するヒーロー「黄門さま」の謎を解く」

* 多元文化学会主催

早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

東アジアの人文知

2013年12月14日（土） 井深大記念ホール

【主催】 国際シンポジウム「東アジア文化圏と村上春樹——越境する文学、危機の中の可能性——」

千野拓政 「東アジア文化圏とは何か？——若者の見る村上春樹とサブカルチャー——」

閻連科 「中国における著作活動の特殊性」

施小煒 「インターネットで見る中国における村上春樹『1Q84』の受容」

加藤典洋 「六十八年後の村上春樹と東アジア」

尹相仁 「村上春樹と東アジアの間を往還するもの」

マイケル・エメリック 「村上春樹、東アジア、世界文学」

千野拓政、閻連科、施小煒、加藤典洋、尹相仁、マイケル・エメリック、松家仁之、松永美穂

パネルディスカッション「あらたな村上春樹」

トランスナショナル社会と日本文化

2013年4月8日（月） 33号館第10会議室

【主催】 講演会「日タイ交流に関する遺跡について」

ソムチョート・オンサクル 「日タイ交流史およびタイにおけるその遺跡」

2013年6月17日（月） 33号館第10会議室

【共催】 シンポジウム「アジアの水利問題と国家・社会 その2 日本中世の荘園空間と水利」

海老澤衷 「多層荘園記録システムにおける水利と地名」

貫井裕恵 「備中国新見荘史料の所在と年次比定」

土山祐之 「西方・金谷地区の水利と地名」

久下沼譲 「足立・上市地区の水利と地名」

大島創 「坂本・千屋地区の水利と地名」

飯分徹 「高瀬・釜村地区の水利と地名」

高橋敏子 「新見荘史料および新見荘域の水利と地名を考える」

* 高等研究所（研究エリア・比較文明史）との共催

2013年7月13日(土) 小野記念講堂

【共催】シンポジウム「アジアの水利問題と国家・社会 その3 中世村落の総合的復原研究
——備中国新見荘の歴史と水利——」

- 海老澤衷 「多層荘園記録システムの構築に向けて」
白石祐司 「新見市たたら再現事業の経緯」
似鳥雄一 「室町期の新見荘地頭職・地頭方と新見氏」
貫井裕恵 「中世後期における御影供執事役について」
大澤泉 「備中国新見荘の経営と地域社会」
宮崎肇 「新見荘田所職文書案をめぐって」
川戸貴史 「代銭納制再考」
清水克行 「室町期荘園における庄主群像」
酒井紀美 「中世在地社会と徳政」
高橋敏子 「中世百姓の身分意識」
高橋傑 「新見荘の下地中分と地頭方の空間構成について」
辰田芳雄 「新見荘三職・百姓等注進状に見る在地動向」
伊藤俊一 「応永末～寛正年間の水干害と荘園制」
海老澤衷、井上聡、清水亮、藤井勲

パネルディスカッション「新見荘の未来——共同研究とたたらへの継承——」

* 高等研究所(研究エリア・比較文明史)との共催

2013年10月21日(月) 33号館第10会議室

【共催】シンポジウム「アジアの水利問題と国家・社会 その4 水利からみた共同体と国家」
濱川栄 「『世界遺産』から見た水利問題と中国社会——「大運河」と中国史——」
飯山知保 「12-19世紀河北水利史の動向について」
三浦恵子 「バリ島の文化的景観：トリ・ヒタ・カラナの哲学とスパック組織」

* 高等研究所(研究エリア・比較文明史)との共催

2013年11月23日(土) 33号館第10会議室

【共催】シンポジウム「トランスナショナル社会における相互認識」
張慧珍 「一八世紀初期における幕府と対馬藩の対朝鮮外交について」
矢野美沙子 「薩琉軍記に見る異国認識」
ノゲラ ラモス マルタン 「キリシタンの海外意識について——幕末～明治初期を中心に——」

* 文化構想学部多元文化論系との共催

前近代東アジア世界における歴史・社会・文化の研究

2013年9月28日(土) 小野記念講堂

【後援】科研基盤(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」
シンポジウム「対敵と仏法」

- 大島幸代 「退敵の毘沙門天像と土地の靈験説話——唐後半期における像への眼差しの変遷——」
三上喜孝 「古代の境界世界における対敵と仏法」
長坂一郎 「羽黒権現・軍荼利明王の成立について——行者守護から異敵調伏へ——」
黒田智 「勝軍地蔵の八〇〇年」
長岡龍作 「『対敵』の精神と仏像の役割——古代日本の事例に着目して——」

* 科研基盤(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」(研究代表:新川登亀男)

主催

2013年11月14日(木) 33号館第8会議室

【後援】早稲田大学簡帛研究会 若手研究者発表会(第1回)

柿沼陽平 「三国時代西南夷の社会と生活」

*工藤元男研究室主催

2013年11月28日(木) 39号館第5会議室

【後援】早稲田大学簡帛研究会 若手研究者発表会(第2回)

川手翔生 「土壘説話の変遷とベトナムへの受容」

岡本正則 「出土資料よりみた西周王朝と服属諸氏族の関係

——河南・湖北・山西地域の西周墓葬の分析を中心として——」

*工藤元男研究室主催

2013年12月12日(木) 39号館第7会議室

【後援】早稲田大学簡帛研究会 若手研究者発表会(第3回)

小倉聖 「出土資料に見える刑徳七舎とその理論の相違について」

川村潮 「漢代易学の文化史——古代の学問と権力をめぐって——」

*工藤元男研究室主催

2013年12月21日(土) 小野記念講堂

【後援】科研基盤(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」

シンポジウム「言語・文字の転回からみた『仏教』流伝」

朱慶之 「インド仏典の翻訳にもとづく中国語の変容

——中国語人称代詞の複数標記出現を例として——」

吉田豊 「イラン語圏における仏教受容——ソグド語圏を中心に——」

阿部龍一 「なぜ玄奘訳なのか——『般若心経』の東漸をめぐる旧訳と新訳——」

ジョン・ウィットマン 「東北アジア言語の仏典訓読とラテン語教典の読法」

河野貴美子 「古代日本の仏教説話と内典・外典——『日本霊異記』を中心に——」

*科研基盤(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」(研究代表:新川登亀男)
主催

2014年1月9日(木) 39号館第7会議室

【後援】早稲田大学簡帛研究会 若手研究者発表会(第4回)

谷口建速 「長沙走馬楼呉簡よりみる孫呉政権の税役」

渡邊将智 「後漢安帝の親政とその統治の構造」

*工藤元男研究室主催

2014年1月23日(木) 33号館第2会議室

【後援】早稲田大学簡帛研究会 若手研究者発表会(第5回)

峰雪幸人 「慕容政権遷都考」

楯身智志 「前漢劉氏淮南王国の興亡」

*工藤元男研究室主催

2014年3月20日(木) 39号館第5会議室

【後援】早稲田大学簡帛研究会 若手研究者発表会(第6回)

水間大輔 「秦漢「県官」考」

小林文治 「里耶秦簡より見た秦辺境の軍事組織の構造と運用」

森和 「告地書と葬送習俗」

*工藤元男研究室主催

社会の複雑化・階層化の史的パースペクティブ

2013年4月27日(土)～28日(日) 36号館362教室

【後援】公開シンポジウム「関東甲信越地方における中期／後期変動期

——4.3ka イベントに関する考古学的現象——」

安斎正人 「趣旨説明——完新世の気候変動と縄文文化の変化——」

工藤雄一郎 「縄文時代中期から後期の環境史と土器の年代」

吉川昌伸 「縄文中期から後期の植生史と人為的な生態系の形成」

千葉毅 「関東甲信越地方における称名寺式土器と加曾利EV式土器の混在の様相」

加納実 「中期末～後期初頭における東西関係について」

(以上、4月27日発表)

水沢教子 「信越地域における縄文中期中葉から後葉の東北系土器」

鈴木徳雄 「加曾利E式系土器の存在形態と変化」

綿田弘実 「中部高地における縄文中期後葉から後期前葉の土器変遷」

木下哲夫 「気屋式土器の終焉」

(以上、4月28日発表)

*東北芸工大学公開シンポジウム『関東甲信越地方における中期／後期変動期』実行委員会主催

早稲田大学先史考古学研究所共催

東北芸術工科大学東北文化研究センター、早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「社会の複雑化・階層化の史的パースペクティブ」、東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻環境民俗考古学研究室後援

2013年11月16日(土)～17日(日) 36号館382教室

【共催】公開シンポジウム「縄文時代装身具の考古学」

宮本一夫 「東アジア的視点から玦状耳飾りを考える」

木下哲夫 「福井県桑野追跡出土石製装身具が呈出した諸課題」

谷藤保彦 「前期初頭の玉飾り——中国新石器時代玉器との比較——」

栗島義明 「大珠研究の意義——威信財から見た縄文集落の構成——」

(以上、11月16日発表)

西川博孝 「鹿角製腰飾りに関する考察」

小林克 「縄文時代の漆製品——櫛飾りの考古学——」

吉田泰幸 「縄文後・晩期の土製耳飾りと縄文社会」

高橋龍三郎 「縄文身体装飾の社会的意味」

藤田富士夫 「石製装身具総論(始源期)——玦状耳飾研究の現在——」

(以上、11月17日発表)

*早稲田大学先史考古学研究所主催

2014年3月29日(土) 36号館681教室

【後援】公開シンポジウム「アジアの土と炎」

馬場匡浩 「エジプトにおける焼成技術の展開」

常木晃・黒澤正紀「西アジアにおける土器生産の始まりと初期の土器製作技術」

赤司千恵 「西アジア各地の燃料——民族誌に見られる燃料の使い分け——」

小泉龍人 「西アジア都市形成期の彩文顔料定着と焼成温度」

小茄子川歩「インド・ハリヤーナー州における牛糞燃料の使用方法について」

久保田慎二「中国新疆ウイグル自治区の陶器づくり——カシュガル地区を中心に——」

徳澤啓一 「西南中国及び東南アジア大陸部の「泥窯」——泥漿被覆野焼きの地域差を中心として」

小林正史 「東南アジア大陸部の覆い型野焼き民族誌の地域差の背景」

齋藤正憲 「土器焼成の比較民族誌——バングラデシュおよびインドネシアの事例を中心に——」

高橋龍三郎「パプアニューギニアの土器製作と社会的意味」

佐々木幹雄「オングの土と炎——韓国生活陶器の特性——」

木立雅朗 「桶窯の民俗例と焼成実験」

西野吉論 「弥生土器の赤彩技術からみた系統把握の可能性について」

田畑直彦 「堀越焼の製作技術——「壺」を中心に——」

久野巨央・四狭間かなた「笠間焼とヶ所焼(佐野)——地域陶の二つの事例——」

*「東アジアの歴史と文化」懇話会・早稲田大学西アジア考古学勉強会主催

日本西アジア考古学会・早稲田大学考古学会・早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「社会の複雑化・階層化の史的パースペクティブ」後援

現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究

2013年7月3日(水) 33号館第9会議室

【主催】〈現代の危機と共生社会〉研究部門2013年度第3回会議・研究例会

浅野幸子 「災害とジェンダー：課題の論点、国内外の動向と東日本大震災を契機とした取り組み状況」

村田晶子 「災害におけるジェンダー問題」

2013年7月31日(水) 39号館第5会議室

【主催】〈現代の危機と共生社会〉研究部門2013年度第4回会議・研究例会

土屋耕平 「復興とコミュニティ形成——大槌町の事例から」

2013年1月25日(土) 33号館第1会議室

【共催】上映会「ドキュメンタリー映画 逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」

*『逃げ遅れる人々』上映実行委員会(早大生ケアスタッフチーム・特定非営利活動法人新宿ライフケアセンター・新宿おひさまの会)との共催

2013年11月16日(土) 33号館第1会議室

【後援】第13回早稲田大学ジェンダー研究所主催シンポジウム

「支え合う力とジェンダー～二年目の福島からの声～」

遠藤恵 「ジェンダーの視点から生まれた30人の声——福島的女性たちの3.11を記録して」

島田暁 「震災と性同一性障害、セクシュアルマイノリティ」

ドキュメンタリー映画『震災から1年 被災地いわきからのメッセージ』

村田晶子 「支援者支援と大学の役割—福島県の女性支援者・地域コーディネーターの課題に向き合って」

写真展「福島県楢葉町 私たちのいま…3.11からの写真展@会津美里町…」

作品展「おだがいさま工房」(福島県富岡町)

*早稲田大学ジェンダー研究所主催

知の蓄積と活用に向けた方法論的研究

2014年2月22日(土)

【主催】第1回部門研究会

嶋崎尚子 「石炭産業研究における資料アーカイブの現状と課題」

行動・社会・文化に関する多角的アプローチ研究部門

2013年5月30日(木) 33号館第1会議室

【主催】2013年度第1回勉強会

竹村和久 「行動意思決定論と意思決定研究」

2013年6月26日(水) 33号館第1会議室

【主催】2013年度第2回勉強会

井田佳祐 「漢字語の命名における形態——音韻対応の一貫性及び音・訓読の効果」

楠瀬悠 「語彙判断課題における仮名・漢字表記語の語長効果」

2013年7月18日(木) 33号館第1会議室

【主催】2013年度第3回勉強会

中山真里子 「日英バイリンガルの音韻処理の単位はモーラ、それとも音素？」

杉田陽一 「生まれて初めて見る顔」

2013年11月6日(水) 33号館第1会議室

【主催】2013年度第4回勉強会

大橋洸太郎・豊田秀樹

「インタビュー調査の分析と飽和率——就職活動に関して後輩に伝えたいアドバイス——」

池原一哉・豊田秀樹・吉田健一

「3次までの積率を独立特定できる非対称正規分布の表現—ブランド価値の分布の歪みの分析—」

2013年11月23日(土) 33号館第1会議室

【主催】2013年度第5回勉強会・公開講演会

汪衛東 「中国の伝統的思想に根差す中医心理学について

——中医心理学の過去、現在、そして未来と心理臨床を通して——」

2014年1月29日(水) 33号館第1会議室

【主催】2013年度第6回勉強会

杉森絵里子 「記憶課題を用いた空想と現実を区別するメカニズムの解明」

板口典弘 「運動に基づいた身体位置知覚」

ヨーロッパ基層文化の学際的研究部門

2014年3月15日(土) 39号館第7会議室

【共催】研究会「西欧中世のキリスト教世界と迫害社会の形成」

函師宣忠 「中世南フランスにおける異端審問と「迫害社会」——「カタリ派」をめぐる攻防の行方——」

成川岳大 「中世北欧における「まじない（妖術）師」イメージの変容——「迫害社会」的価値観の受容？」

鈴木喜晴 「「迫害」か「自治」か？中世後期の托鉢修道会における会内規律の維持と介入」

*早稲田大学高等研究所セミナーシリーズ「比較文明史」、科研基盤（A）「中近世キリスト教世界の多元性とグローバル・ヒストリーへの視角」との共催